

回旋偏位検査-自覚的検査 Maddox Double(二重)prism test

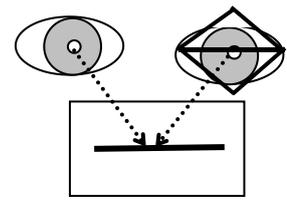
目的
上下斜筋麻痺やA-V型斜視に伴う回旋斜視(位)の検出

準備物 4~6△のブロックプリズム 2つ・1本の横線が記入された紙

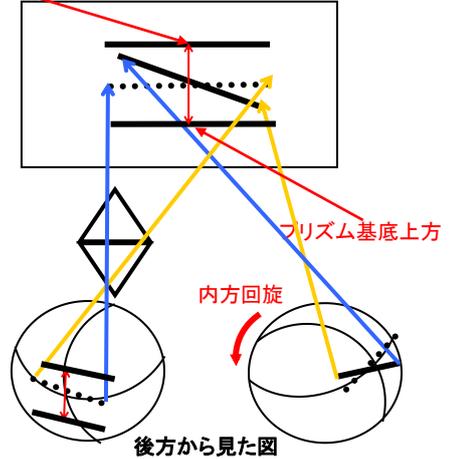
2つの4~6△のプリズムの基底同士を合わせて通常健眼の前に置き、白い紙の上に書かれた1本の水平線を確認したい距離にて紙面と視線とを垂直にして見る

プリズムを基底同士にあわせた位置に視線を合わせないと3本に見えるよ!

例) 右眼内方回旋斜視



例) 右眼内方回旋斜視



プリズムを装用するとプリズムを通して見た正面の物は基底方向に曲がり中心窩より下方に投影されるので実際には頂角方向に見える。よって、横線の Base down の方は網膜上方に、Base up の方は下方に投影され、実際には両眼合わせて3本に見える。

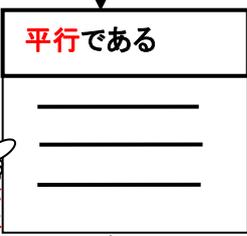
頭をまっすぐにさせると、2線で挟まれた中央の線は平行であるか?

YES

NO

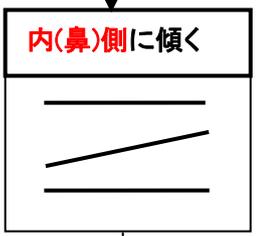
近見にした方が3つの線が判り易い。

* 図は左眼にプリズム装用の場合

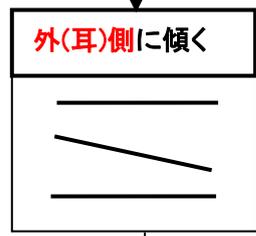


回旋偏位なし

水平偏位があると横にずれる場合があるよ。



プリズム非装用眼の外方回旋斜視(位)



プリズム非装用眼の内方回旋斜視(位)

この場合、両眼分離しているので斜視となっているが、日常、複視があって傾いて見える意識があると斜視ではあるが、この検査だけでは斜視か斜位かの判別はできない。

例)

中央の線が外(耳)側に傾いている!

記載例)

R: incyclo
左眼にプリズム装用

屈折矯正の有無も記載すべきだが、記載は色々。

長所

特別な光源を必要とせず、通常の室内光下でテストできる。

短所

質的診断のみで量的診断ができない。

判定基準) 平井淑江: 視能学 P322 での報告

第一眼位で
正常者の平均: $0.33 \pm 0.31^\circ$ 外方回旋偏位

自分の結果を書いておこう!